

海域ワーキンググループの経過報告・今後の予定

1 開催状況

令和4年（2022年）7月11日（月）第1回ワーキンググループ開催（羅臼町）

〈第1回海域ワーキンググループの主な内容〉

◇ 長期モニタリング項目評価調書（案）について

第2期長期モニタリング計画において海域ワーキンググループが担当するモニタリング項目について、最新のデータに基づく評価を行った。

◇ 第4期知床世界自然遺産地域多利用型統合的・海域管理計画の策定について

第3期海域管理計画の計画期間（～令和5年3月31日）満了に伴い、第4期海域管理計画の策定を行うため、現計画の時点修正及び長期モニタリング計画等の内容を反映した道素案（案）について検討を行った。

◇ 第2期長期モニタリング計画に係るモニタリング項目等について

第1期長期モニタリング計画期間において、流水などの環境条件等により調査できないことが多く、定量化できる調査を確立できていなかったアザラシの調査について、第2期長期モニタリング計画期間における評価基準・評価指標・モニタリング手法に係る検討を行った。

第2期計画においては、ゴマフアザラシの遺産海域への到達・未到達にかかわらずデータ収集が可能となる手法を採用することとした。

	評価基準	評価指標	モニタリング手法
第1期	アザラシの保護管理に重大な支障を生じさせないこと（絶滅のおそれを生じさせない）。	来遊頭数	陸上及び海上からの目視調査
第2期	知床遺産地域とその周辺海域におけるアザラシの来遊頭数が維持されていること。	サロマ湖・能取湖周辺の採餌利用頭数及び網走沖の繁殖個体数	サロマ湖・能取湖周辺における陸上からの目視調査及び網走沖における海上からの目視調査

◇ 第44回世界遺産委員会決議に係る保全状況報告について

決議項目4及び決議項目5（トド関連）に対する回答案について検討を行った。

2 今後の予定

◇ 第2回海域ワーキンググループ（札幌市）

- ・長期モニタリング項目評価調書（案）について
- ・海域管理計画定期報告書の作成について
- ・第4期知床世界自然遺産地域多利用型統合的海域管理計画の策定について